

農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換の結果について

平成29年3月31日
 (公社)神奈川県農業公社

番号	開催日	参加者の概要等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点
1	H28.5.11	水田整備に係る検討会 県土地連、 相模川左岸土地改良区、厚木市入之藪土地改良区、小沢頭首工土地改良区連合、 泉橋酒造(株)	○大区画ほ場整備も大切であるが、時間的な制約もあることから、畦畔除去による区画の拡大など、簡易な整備手法により農地中間管理事業が活用できるのではないか。 ○機構は、事業推進にあたり、積極的に農地の耕作条件改善に取り組んでくれるのか。	○各地域の農家や関係機関が連携し基盤整備や担い手育成の課題に取り組んでいくことが必要であり、今後も検討会に参加して農地中間管理事業の課題と推進方策について検討していく。
2	H28. 6.24 H28. 6.29 H28. 6.30 H28. 7. 1	松田町農業委員会地域懇談会 参加人数:21名 15名 15名 14名 計 65名	○機構が借り受けて、1年経ったら返還する時とは、どのような時か？ ○貸付希望申出書を提出しているが、連絡がなく受け付けてもらっているか不安だ。 ○機構が農地を借り受けるのに面積要件はあるのか？ ○樹園地でも機構が整備して貸付してもらいたい。 ○農地ナビが公表されており、悪用されることが心配だ。 ○固定資産税の軽減措置があると聞いたが、希望すれば機構は借りてくれるのか。	○個々の質問にはその場で回答しているが、同様の疑問があることから、改訂するパンフレットに出来るだけ反映して事業周知を図る。 ○貸付希望申出書には受付印を押して、申出者の写しを返すことにする。 ○樹園地の貸付は課題。
3	H28.9.7	農業参入フェア2016 かながわ農業アカデミーと協賛でブース開設 参加人数: 5社	○ニーズにあった農地情報を即時に提供してもらいたい。	○かながわ農業アカデミーと連携強化し、企業参入希望者のニーズを把握し、農地情報を提供する。 ○市、農協との連携を強化して、農地情報を確保する。

農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換の結果について

平成29年3月31日
 (公社)神奈川県農業公社

番号	開催日	参加者の概要等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点
4	H28.9.7	相模原市農地利用最適化推進委員連絡会 津久井地区部会 参加人数：26名	<ul style="list-style-type: none"> ○農業振興地域だけでなく生産緑地内でも手入れの行き届かない農地があるが、事業対象にはならないか。 ○荒茶工場が閉鎖され茶園が荒れているが、借りてもらうには自分で整備・解消しなければならないのか。 ○遊休農地の課税強化について、当地域のように鳥獣被害で十分管理出来ない事情については加味しているのか。 ○借り手が参入しても鳥獣被害で十分に管理できないのは自己責任ということか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の質問について回答。 ○遊休農地の課税強化措置については、敏感に感じており、農業委員会事務局からも、「課税強化につながる勧告の有無については、農業委員会の中で議論された中で対応を検討する旨」の説明があった。機構としても農業委員会と調整して対応していく。
5	H28.9.28 H28.11.25	横浜市都田第一土地改良区	<ul style="list-style-type: none"> <国庫補助事業(農地耕作条件改善事業)導入によるかんがい施設整備の更新と農地中間管理事業の活用について> ○農地を貸して得た賃料を確定申告する時はどうするのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の役員会議、11月の全体会議において農地中間管理事業について説明。 ○土地改良区、横浜市、機構が連携して、改良区内の農地の貸借は原則として農地中間管理事業を活用することで合意した。 ○モデル地区の設定してH29年度から事業開始。
6	H28.10.17	県央地区農業委員会連合会(新任農業委員・農地利用最適化推進委員基礎研修会) 参加人数：35名	<ul style="list-style-type: none"> ○果樹園や温室が伴う貸借もあるのか。 ○神奈川県の事業実績はどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○果樹園の貸借を希望する例は少ない状況を説明。 ○畑として利用する場合は、抜根作業など復旧に経費が掛かるため、温室も使える状況でないと経費が掛かるため、借り手の要望が少ない旨説明。 ○果樹園や温室については復旧経費が課題。 ○実績は厳しい状況から、更なる出し手・受け手の掘り起こしについて協力をお願いした。

農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換の結果について

平成29年3月31日
 (公社)神奈川県農業公社

番号	開催日	参加者の概要等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点
7	H28.10.11 H28.10.14 H28.10.28 H28.10.31	厚木市人・農地プラン 話し合い(依知地区、 南毛利地区、玉川地 区、相川地区)	○パンフレットではメリットばかり書いているが、デメリ ットは何か？ ○対象となる農業振興地域内の農地は、どのように 把握しているのか？ ○借り手の要件はあるのか？ ○希望すれば、機構は全ての農地を借り受けて、管 理してくれるのか？ ○借り入れ困難な農地の判断は誰がするのか。その 考え方は？	○公告縦覧等の手続きにより従来より時間がかかる 旨説明し、理解を求めた。 ○厚木市では市街化調整区域＝農振地域と考えて よい旨説明。 ○新規参入については各市町の参入要件による。 ○遊休農地の意向確認調査を受けて、機構に貸し出 す農家への説明が求められることから、県、農業会 議と調整して、「遊休農地に関する本県の機構として の取扱い」を文書で各市町農業委員会へ通知するこ とにする。
8	H28.11.1	県農業経営士協会理事 県農業技術センター 普及指導員他 参加人数:15名	○借り受ける面積の下限はあるのか？ ○貸出農地の情報が少ないのは、出し手農家への 説明が不足しているのではないか。	○農業経営士協会とのパイプを太くし、農家への普 及推進を拡大する。
9	H28.11.16	農業法人化推進セミ ナー	○事業制度、メリットをわかりやすく説明してもらいた い。	○セミナー等を活用して農業法人に事業制度を説明 し、事業の活用を推進する。
10	H28.11.17 H28.11.18	大井町人・農地プラン 話し合い(金田・曾我 地区、相和地区) 参加人数:19名 21名 計 40名	(金田・曾我) ○利用権で農地を借りているが、返したいので合意 解約を申し入れたが、返されても困るといわれた。ど うしたらようか。 ○出し手、借り手に対して、もっと交付金を出してメ リットを出したらどうか。 (相和) ○農地利用最適化推進委員が設置されたが、どう活 動するかが今後の課題となる。	○交付金については国の制度だが、市町単独の制 度があるところもある。県では、機構事業を活用する きっかけになるような県単協力金制度について検討 することのこと。 ○農地利用最適化推進委員の情報を的確に機構に つなげる手法を検討する。

農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換の結果について

平成29年3月31日
 (公社)神奈川県農業公社

番号	開催日	参加者の概要等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点
11	H28.12.13	厚木市入野藪土地改良区	<p>○2～3アール/区画の小区画であるので、畦畔除去してせめて1反区画に改善して農地を担い手へ集積したい。</p> <p>○今年度、厚木市都市農業支援Cをはじめ関係機関に集まってもらい、地権者や耕作者の話し合いを進めたい。</p> <p>○機構の活用について検討したい。</p>	<p>○話し合いの段階から機構が中に入り、地域にあった活用方策を検討する。</p>
12	H29.1.31	借受者 (株)旬活工房	<p>○既に2.1haを借り受けており、機構にはお世話になっている。まだ規模拡大していきたいのでよろしくお願いしたい。</p> <p>○ふるさの納税返礼品として「こだわりの旬活米」を提供しているが、パンフレットに「受け手の声」として紹介していただいたことで、PRになっている。</p>	<p>○パンフレットに「受け手の声」ということで紹介させていただいた効果があり、次のパンフレット作成の参考としたい。</p>
13	H29.2.1	相模川左岸土地改良区理事長との意見交換 参加人数:4名	<p>○受益内に酒米農家(泉橋酒造、酒米研究会)があり、借受希望している。</p> <p>○地域で貸し借りの話が出たときに、相対の利用権もあれば農地中間管理事業を活用することもある。メリットを考えて柔軟に活用すればよいのではないか。</p>	<p>○地域地域で課題や状況も異なり多様な農業が展開されている。地域ごとに、ひとつでも事例をつくり、機構に貸せば安心だと農家に実感させる取組が必要である。</p> <p>○改良区の役員の方などが率先して利用いただくよう、併せて組合員への周知等を進めるようお願いした。</p>
14	H29.2.16	かながわ農業法人セミナー 参加人数:63名	<p>○さらなる事業周知が必要である。</p>	<p>○神奈川県農業法人協会との連携強化により会員への事業周知を図っていく。</p>

農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換の結果について

平成29年3月31日
(公社)神奈川県農業公社

番号	開催日	参加者の概要等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点
15	H29.2.21	中井町人・農地プラン 話し合い	○農地中間管理事業で貸した場合、経営移譲年金はどうなるのか説明ほしい。 ○納税猶予制度について説明してほしい。 ○遊休農地の意向調査について説明してほしい。	○パンフレットには簡単に記載しているが、納税猶予制度など質問の多い事項はQ&Aに取りまとめ、各種説明会で周知するとともに、市町担当者等を通じて農家に周知出来るよう検討する。